第6次上尾市総合計画後期基本計画(案)の概要

概 要

総合計画は、地方自治体におけるまちづくりの総合的指針であり、本市では昭和 45 年度に最初の総 合計画を策定してから6次にわたって総合計画を策定し、時代に対応した市政運営に総合的・計画的 に取り組んできました。

令和3(2021)年3月に策定した「第6次上尾市総合計画」では、将来都市像を「みんなでつくる みんなが輝くまち
あげお」とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により市民生活に多大な影 響が及ぼされる中、少子高齢化の進行をはじめとした大きな時代の変化に対応しつつ、"市民同士がつ ながりを持ち、協働でまちづくりに取り組むことで、誰もが安心・安全に暮らすことができ、将来に わたり市民と地域が輝き続けるまち"を目指して、取組を進めてきました。

「第6次上尾市総合計画」前期基本計画が令和7(2025)年度をもって計画期間を満了することか ら、このたび令和8(2026)年度以降の新たなまちづくりの指針となる、後期基本計画を策定するも のです。

計画の構成と期間

「第6次上尾市総合計画」は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成します。この計画 は、「基本計画」のうちの後期基本計画にあたります。

《第6次上尾市総合計画の構成と目標年次》 (令和・ 3 4 5 7 8 9 12 6 10 11 年度) 第6次上尾市総合計画 基本構想(10か年構想) 後期基本計画(5か年計画) 前期基本計画(5か年計画) 行財政3か年実施計画 (毎年度見直し)

将来人口

総合計画には、令和52(2070)年までの本市における将来人口の推計を示しています。

その中で、まちづくりの基礎となる人口は、国立社会保障・人口問題研究所が推計した結果を、住 民基本台帳人口ベースで再推計(以下「基本となる推計人口」)し、今後の施策展開による効果などを 考慮し将来展望人口とした上で、以下のように推計します。(※)

※ 国勢調査の結果の最新値が令和2 (2020) 年実施のものとなるため、令和7 (2025) 年の数値は実績値ではなく、 推計値となっています。

《上尾市の将来展望人口》



まちづくりの基本方向

本市のまちづくりの重点課題を解決しながら、将来の目指す姿を実現するため、まちづくりの基本 理念に沿って進める共通のまちづくりの基本方向を、次のように定めます。

将来都市像

みんなでつくる みんなが輝くまち あげお

まちづくりの重点課題 8項目まちづくりの基本方向

明日を担う人が育つまちづくり

人生が楽しめるまちづくり

支え合う安心なまちづくり

誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

安全な暮らしを守るまちづくり

未来に引き継ぐ環境と共生するまちづくり

活力にあふれたにぎわいあるまちづくり

基本理念

安心・安全な暮らし

誰もが 自分らしく 人とつな がりのある まちへ 持続可能な 未来への 責任

持続可能な都市経営

1 明日を担う人が育つまちづくり

安心してこどもを産み育てられ、こどもが健やかに育つ環境づくりを進めるとともに、こどもたち 一人一人が柔軟かつ主体的に未来を切り開いていくのに必要な能力の育成に向けた教育の充実を図り ます。

2 人生が楽しめるまちづくり

誰もがいきいきと暮らせる社会の実現に向けて、市民が日頃からこころやからだの健康づくりに取り組める環境づくりを進めるとともに、年齢に関わらず学びたいときに学べる機会の充実を図ることで、人生 100 年時代にふさわしいまちづくりを進めます。

3 支え合う安心なまちづくり

誰一人取り残さない社会の実現に向けて、高齢者、障害児者など支援を必要とする人が適切な支援を受けられるほか、介護で悩んでいる人や生活に困っている人への相談体制の充実や地域全体で支え合う仕組みづくりを進めるなど、誰もが安心して生活できるまちづくりを進めます。

4 誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

国籍、性別などに関わらずお互いを尊重できるまちを目指して、職場や学校、家庭や地域で起こる 差別の解消に向けた取組を進めるとともに、あらゆる世代が市民活動に参加することができ、国籍や 文化的背景の違いに関わらず、誰もが社会の一員として活躍し、自分らしく暮らせるまちづくりを進めます。

5 安全な暮らしを守るまちづくり

地震や風水害などの大規模災害に対する対策を進め、地域全体のレジリエンス(回復力、復元力、 しなやかさ)を高めるほか、交通事故や犯罪、火災による被害を防ぎ、全ての市民が安心して暮らせ るまちづくりを進めます。

6 未来に引き継ぐ環境と共生するまちづくり

本市の未来を担うこどもたちに豊かな自然環境を残すため、環境保全に向けた取組を進めるとともに、道路や河川、上下水道の整備・維持管理に継続的に取り組むことで、将来にわたって安心・安全に暮らせるまちづくりを進めます。

7 活力にあふれたにぎわいあるまちづくり

本市の産業立地上の優位性を生かし、地域全体の産業競争力を向上させるとともに、特産品等を積極的に PR するなど、にぎわいを創出する取組を進めます。また、働き方の多様化による労働力の確保や労働環境の向上、情報技術の活用を推進することで、活力あるまちづくりを進めます。

8 持続可能な都市経営

経営資源が限られ、人口減少や高齢化が進む中にあっても、市民サービスを維持・向上させるため、ICTを活用したスマート自治体への転換や公共施設マネジメントに基づく施設の質・量の最適化を図るとともに、さらなる財政健全化の実現に向けた取組を推進します。

また、市民・事業者・大学・行政など多様な主体が協働して地域の課題解決に取り組むなど、オール上尾で持続可能なまちづくりを進めます。